

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立芸術創造館
施設所管課・担当	経済戦略局文化部文化課（担当：大野）
条例上の設置目的	演劇、舞踏、音楽その他の舞台芸術(以下「演劇等」という。)の創作、練習又は発表の場を提供することにより、演劇等に携わる者の活動を支援するとともに、市民の文化交流を促進し、もって芸術及び文化の振興に寄与する。
業務の概要	・施設の総合管理業務 ・施設の使用許可及び貸室業務 ・情報発信及び利用促進業務 ・芸術創造館の設置趣旨・目的を達成するための指定管理者の自主事業 他
成果指標	演劇練習室稼働率、音楽練習室稼働率、施設利用者満足度
数値目標	演劇練習室稼働率：80%以上、音楽練習室稼働率：63%以上、施設利用者満足度：「良い」の割合85%以上
指定管理者名	アクティオ株式会社
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	演劇練習室稼働率	音楽練習室稼働率	施設利用者満足度
数値目標	80.0%	63.0%	85.0%
年度実績	70.3%	52.9%	100.0%
達成率	87.9%	84.0%	117.6%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
演劇練習室・利用人数	36,906	27,973	8,933
音楽練習室・利用人数	10,892	8,004	2,888
演劇練習室・稼働率	70.3%	72.1%	-1.8%
音楽練習室・稼働率	52.9%	58.6%	-5.7%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績－計画)	主な要因
業務代行料	実績	34,325,000	34,325,000	0	
	計画	34,325,000	34,325,000		
利用料金収入	実績	32,057,550	27,662,700	-2,942,450	コロナ禍以前の稼働率に戻る想定で計画していたが、想定していたよりも利用が戻らなかったことによる減
	計画	35,000,000	35,000,000		
その他収入 (自主事業収入等)	実績	13,472,032	8,504,913	7,172,032	
	計画	6,300,000	6,300,000		
合計	実績	79,854,582	70,492,613	4,229,582	
	計画	75,625,000	75,625,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績－計画)	主な要因
人件費	実績	25,340,720	24,345,441	-3,293,970	公演利用時の増員や繁忙期の増員を行わなかったことによる減
	計画	28,634,690	29,605,530		
物件費	実績	58,286,785	51,622,603	12,296,475	光熱水費、機材買い換えに伴う費用の増
	計画	45,990,310	45,019,470		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	75,972	111,796	-924,028	
	計画	1,000,000	1,000,000		
合計	実績	83,703,477	76,079,840	8,078,477	
	計画	75,625,000	75,625,000		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
演劇練習室稼働率	87.9%	C	利用者等の合計は、前年度比約1万3千名増と大きく増加している。その一方で、新型コロナウイルスで大きな影響を受けた文化芸術関係は足元の現場レベルでコロナ以前の状況に完全に戻り切っていないという側面もある(令和元年度実績：演劇稼働率 77.1%・音楽稼働率 63.8%)。 稼働率向上に向けて令和5年度から開始したInstagram、従来より運用していたX（旧 Twitter）とともにSNSを効果的に活用し認知度向上に努める。
音楽練習室稼働率	84.0%	C	
施設利用者満足度	117.6%	A	

（2）管理経費の縮減（ ）

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
建物・設備修繕について意識を持って予防保全に取組むだけでなく、限られた予算の中で長年の課題となっている破損・消耗した機材の修繕・買替えを行うなど、適正な経費管理に努めている。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

施設利用者満足度調査では、多数の利用者から施設予約にあたってインターネットで予約ができるように改善要望があった（この要望については、令和6年度改善予定）。「スタッフの対応」及び「施設と設備」については100%が「良い」という声をいただいております、非常に高い水準で評価されている。特にスタッフの対応の丁寧さが高く評価されており、この点が利用者満足度の向上に直接つながっていると考えられる。
--

6 外部専門家意見

・コロナ禍以前の稼働率に戻らない厳しい状況であったことが収支からも読み解ける。この状況が続いた場合に、指定管理を継続できるか不安になる。そういった中で、自主事業によって施設のアピールに努めた点を評価する。 利用者満足度調査で高い評価を得ていることから、口コミによって、今後の利用に繋がることを期待したい。特徴あるインキュベーション施設として、市民ニーズの把握に努め、市民の文化芸術活動の拠点となることを引き続き目指して欲しい。 ・利用者満足度が100%であり、利用者に寄り添った運営を行っていることは高い評価ができる。しかし、稼働率は目標未達である。また、収支赤字状態になっている。稼働率をコロナ前の水準まで回復させることが困難である可能性も考えられるため、持続可能な指定管理業務の観点からは稼働率向上以外の方策を含めて、一層の収入増に向けた取組みが期待される。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	施設利用者満足度は、高く評価することができるがSNSを活用などし利用率増に向け工夫の余地があると認められる。
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	コロナ禍前の状況には完全に戻り切らない中で、自主事業イベント等を通じて施設の認知度向上に努めている。コロナ禍前の稼働率へ回復するよう中長期的な計画を立て、サービス向上・施設の有効利用に期待したい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	